

## 【福島県喜多方市】

### 校務D X計画

文部科学省では、令和5年3月に「G I G Aスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を取りまとめ、次世代の校務D Xの方向性を示した。ここでは、今後数年かけて校務系・学習系ネットワークの統合と次世代の校務支援システムの整備を行うとともに、クラウド活用を前提としたG I G Aスクール環境の積極的な活用により、教職員や教育委員会職員等の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化が可能であるとしている。

また、「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」(令和5年8月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会) においても、1人1台端末の積極的な活用や、汎用のクラウドツールを活用した教職員間での情報交換の励行、会議資料のペーパーレス化、民間企業向けクラウドツールの転用による校務処理の負担軽減を図るとともに、スケジュール管理のオンライン化や、学校と保護者間の連絡手段を原則としてデジタル化するなどの取組を進める必要があるとしている。

これらを踏まえ、校務の効率化及びペーパーレス化等を図り、教職員の働き方改革の実現に向けて、校務D X計画として以下を計画する。

#### ① 教職員対象研修会のオンデマンド配信による実施の検討

研修内容に応じて、集合研修の他、オンデマンド配信による研修実施について検討します。

#### ② F A X及び押印の見直し

令和6年8月9日付け文部科学省事務連絡「学校とのF A Xでのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルールの見直しについて」の周知を徹底し、各学校での見直しを進めます。特に、教育委員会から学校に提出を求める文書や、学校から保護者に提出を求める文書等のうち、特に必要のあるものを除き、押印の廃止に向け取り組みます。また、緊急連絡やネットワークの不具合時等を除き、F A Xの使用廃止を検討します。

#### ③ 学校から保護者に対する配付物のペーパーレス化

紙媒体での配付が必要な場合を除き、保護者への配付物についてメール配信を推進し、ペーパーレス化を進めます。

#### ④ クラウドサービスの活用

令和7年度に更新するタブレット端末のO SについてはChromeを予定していることか

ら、今後は順次クラウド上でのデータ管理へ移行し、クラウドサービスを積極的に活用した校務処理を学校現場に導入します。

また、児童生徒の欠席等に係る連絡について、クラウドサービスを用い、PCやモバイル端末等から受け付けられる体制の構築を目指します。